

# 令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

茨田西小	学校	児童数	100
------	----	-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.28	17.17	27.18	35.09	46.25	9.93	145.94	18.33	47.70
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	16.61	18.86	36.00	33.93	32.51	9.75	143.93	12.20	52.25
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

### 結果の概要

男子においては、積極的に外遊びをしたり、習い事や地域のスポーツ活動に参加したりしている児童が70%以上をしめるにも関わらず、ほぼすべての項目において全国平均を下回っている。一方、女子においては、運動することに否定的な回答をしている児童が20%以上いるが、4項目が大阪市および全国平均を超え、男子と比べても高い結果となった。

体力合計点に関しては、男子が全国平均から4.83ポイント、女子は1.67ポイントと大きく下回る結果となった。しかしながら「運動やスポーツをすることは好きですか」の質問に対して、最も肯定的な回答をした児童は、男子が82.2%、女子が56.1%と全国・大阪市より高く、男女ともに意欲と能力とのギャップを感じる結果であった。

1週間の総運動時間を見ると、男子は大阪市平均より37.8分、女子は41.1分下回っている。特に土日の運動時間が男子は45分程度、女子は1時間程度、大阪市平均より少ないことが分かった。1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子で18.2%、女子で12.3%という結果であった。

これらの結果から、男子・女子ともに日ごろから運動量を十分確保できていないことが、体力の低下につながっていることがわかる。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

これまでの取組としては、広い運動場を生かし、様々な外遊びができるように工夫してきた。休み時間の外遊びを推奨し、教職員も児童とともに体を動かすことで、児童が運動することの楽しさを感じ取れるようにしてきた。また、体育科の学習においては、体力の向上が視覚的に捉えられるよう、年間を通して学習カードを活用し、自分の成果を実感できるようにした。今日はどんなことを意識して学習するかを「見える化」したことで、学習への意欲や運動を楽しもうとする意欲は高まりつつある。

体力テストにおいては、実施の前に各自で目標設定をし、目標の達成に向けて取り組むようにした。6年間を通しての自分の体力の変化を知ることができるような体力テストカードを作成し、昨年度の記録をもとに今年度の目標を設定し、記録を更新しようと挑戦する姿が見られた。

今後、取り組むべき課題としては、児童の運動能力を維持、向上できるように、運動をすることの楽しさを味わわせるとともに、「できた」を体得できる授業実践やICTを活用して、児童自らが振り返ったり、友だち同士でアドバイスし合ったりする学習の工夫を引き続き行っていく。次年度もプールの移設工事により運動場が全面使用できないことから、体育科の授業での運動量の確保はもちろん、休み時間や放課後の運動場・講堂開放など、学校においての児童の運動時間を増加させるための取組を全教職員で熟考していく。